

現在策定中の長崎市DX推進計画の方針に沿って、最初の3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の重点取組みを定め、令和4年度に取り組むDX関連事業を **DX パッケージ 2022** としてまとめました。

令和4年度～6年度の重点取組み

デジタル化で見込まれる効果が
高い取組みを、最初の3年間で
重点的に取組みます。

令和4年度に実施する事業予算
(DX パッケージ 2022)

総額 **11億2,248万8千円**
(令和3年度補正・令和4年度当初予算)

長崎市DX推進計画の概要 (令和4（2022）年度～令和12（2030）年度)

<コンセプト>

「人」が主役のまちづくりを デジタル技術で加速させる。

デジタル化で変わる市民の暮らし

デジタル化で何を指すの？

暮らし × デジタル

= 地域の課題が解決され
自分らしい暮らしが実現

デジタル化で変わる訪れる人の過ごし方

交流 × デジタル

= 多様なつながりと
新たな体験・価値を実感

デジタル化で変わる市役所

行政 × デジタル

= 一人ひとりにあった
利用しやすい行政サービス

【基本方針】

- デジタル・デバイドのない暮らしの実現
- 暮らしを支える基盤の最適化
- 活躍の機会を創出
- 変化に対応できる人材の育成
- まちの魅力向上
- スマート市役所への変革

まずは
ココから!!

子育て世帯をサポート

「若い世代に選ばれる魅力的なまち」
を目指し、仕事・家事・育児に奮闘す
る子育て世帯の負担をデジタル化でサ
ポートします！

その他の取組み／

- デジタル技術で社会参加をサポート
- 都市OS（データ連携基盤）の活用

重点

2億2,065万2千円

- 子育てアプリを活用した母子保健サービスデジタル化の検討
- 安心・安全な家庭学習環境の提供 918万6千円
(クラウドフィルタリング)
- GIGAスクール運営支援センターの設置 3,586万1千円
- 学校大型提示装置（モニター）の更新 1億682万7千円
- 民間保育所・子育て支援センターにおけるICT化の推進支援
2,000万円 など

魅力の発信と人の流れの創出

長崎の特徴であり、強みでもある「交
流」の歴史。デジタルの力で地域資源に
磨きをかけ、その人にあった情報発信と、
新たなサービスで人を呼び込みます！

その他の取組み／

- XRコンテンツの創造

重点

1億92万2千円

- 新たに開設する観光案内所のデジタル化
- 情報収集・発信の強化等（DMO） 7,072万3千円
- 県外企業のサテライトオフィス設置支援 2,362万1千円など

スマート市役所の基盤づくり

自宅や職場から様々な手続きやサービ
スを利用できる、窓口での負担も軽減
する市役所へ変わります。

その他の取組み／

- テレワークの推進

重点

1億7,689万5千円

- 行政手続きオンライン化に向けた環境整備 6,202万円
- 総合窓口の整備 7,026万5千円
- 地理情報システム（GIS）を活用した行政情報の提供
684万9千円など

- 本格的なテレワーク実施に向けた環境整備 3億9,253万4千円
など

DX パッケージ 2022



具体的に
どう変わるの？

計画のスタートとなる令和4年度のDXパッケージ2022では、**こんな変化を目指していきます。**

令和4年度～6年度の重点取組み

暮らし

子育て世帯をサポート

子どもの健康記録って大変・・・

子どもにいろいろな体験をさせたいんだけど・・・

家庭でのオンライン学習が不安

(before)

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 子育てアプリの導入を検討 ひとり一台パソコンの安全な持ち帰り GIGAスクール運営支援センターの設置 民間保育所等のICT化を支援 		

私たちの思い

- 子育て世帯の負担や不安を減らし、パパママのゆとり時間を増やしたい
- 学校に通えない状況になっても、一人ひとりに寄り添い、安心して学習してほしい

【子育てアプリ】
子育て関係のサービスがスマホで利用でき、便利で簡単に。

スマホで便利！
うっかり忘れがなくなった。

【イベント情報を集約】
様々な体験ができるイベント情報へ簡単にアクセス。

手取りって初めて！
楽しみだね。

【オンライン学習の充実】
ひとり一台配布されたパソコンを活用して、コロナ禍でも、オンラインで安心して家庭学習が可能。一人ひとりに寄り添った学習を提供。

家でも安心して勉強できる

(after)

交流

魅力の発信と人の流れの創出

旅先での情報収集って大変・・・

自分の興味に合わせられるプランがほしい

案内

自然豊かな場所で働きたい！

(before)

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所開設 AIチャットボット導入 情報収集・発信強化 県外企業のサテライトオフィス進出促進 ワーケーション・テレワーク促進 		

○訪れる前のワクワクを超える旅先での体験やおもてなしを届けたい

○長崎の魅力を知って、実感してもらって、長崎のファンを増やしたい

【スマート観光案内所】
新たに開設する観光案内所では、多言語対応アプリを導入したタブレットで、スムーズな案内が可能。手話通訳ともオンラインでつないで、障害がある方へも最適な観光情報を提供。

オンラインで手話にも対応してもらえた

【情報発信】
AIチャットボットでの観光案内で、サクサク情報検索。旅先でもひとり一人の興味に合わせて、ピンポイントで使える情報を取得。

いろいろな情報ももらって、ここでしかできない体験ができた！

【サテライトオフィス・ワーケーション支援】
サテライトオフィスで県外の企業と地場企業の異業種交流が盛んに。また、ワーケーションで長崎の魅力を体感し、移住を決意。

暮らしように過ごしてみたい、移住を決意できた！

(after)

行政

スマート市役所の基盤づくり

行政情報の閲覧に来るのが面倒・・・

窓口で何度も同じことを書かされる・・・

窓口で待たされる時間がストレス・・・

(before)

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きオンライン化 総合窓口システム構築・運用 GISで都市計画図など公開 オンライン相談拡充 契約事務のデジタル化検討 		

○行政手続きって何かと時間がかかって面倒くさい、その不満、デジタルで解決！

○暮らしに、仕事に必要な様々な行政情報を、必要な人に必要な時に届けたい

【行政手続きのオンライン化】
書かない、待たない、行かない。いつでも、どこからでも行政手続きができるように。仕事や用事で平日に時間がない方でもストレスフリーに手続きが可能。

夜中でも手続きできてる～

【総合窓口システム】
複数の手続きができ、何度も同じ内容を書かずに済むように。その他の手続きが必要な場合も迷わない。

同じことを何度も書かずに済んで楽々

【公開型GIS】
都市計画決定情報など、様々な行政情報が窓口に来なくても閲覧可能に。忙しい事業者のみなさんにやさしいサービス。

スマホから道路台帳情報も閲覧できた

(after)

【暮らし × デジタル】

3年後（R6）の目指す状態とR4個別事業 下線：目指す状態

基本方針1 デジタル・ディバイドのない暮らしの実現

基本施策1-1 デジタル活用を支援する

個別施策 ・使いたい・使えない人をサポート



基本施策1-2 人と人とをつなぐ仕組みをつくる

個別施策 ・地域の困りごとをデジタル技術で解決
・デジタル技術で社会参加をサポート

基本方針2 暮らしを支える基盤の最適化

基本施策2-1 産業のスマート化を推進

個別施策 ・地場企業のDX推進・生産性の向上

・スマート農業・スマート水産業の推進

・ICT等を活用した有害鳥獣対策

基本施策2-2 デジタル技術で健やかな暮らしをサポート

個別施策 ・福祉ネットワークの構築
・離島における遠隔診療
・母子保健サービスのデジタル化



基本方針3 活躍の機会を創出

基本施策3-1 データ利活用の促進

個別施策 ・都市OS（データ連携基盤等）の活用
・オープンデータの推進



基本施策3-2 チャレンジの場をつくる

個別施策 ・最新のテクノロジーに触れる場をつくる
・成果発表の場をつくる
・オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援
・スタートアップ支援

基本方針4 変化に対応できる人材の育成

基本施策4-1 GIGAスクール構想の推進

個別施策 ・子どもたち一人ひとりに応じた個別最適な学習の実現
・GIGAスクール構想の環境整備

・ICTを活用した校外学習の充実

基本施策4-2 デジタル社会を担う若者の育成

個別施策 ・実践的な学びの場の創出
・最新のテクノロジーに触れる場をつくる（再掲）
・成果発表の場をつくる（再掲）



デジタル技術を利用できない人をサポートする仕組みが構築されている

- ・[教育委員会] スマートフォン・パソコン講座の実施 162千円【継続】
- ・[市民生活部] 自治会向けにSNS等活用に向けた研修を実施 660千円【拡大】
- ・[教育委員会] オンライン学習のための通信費用支援 7,238千円【拡大】
- ・[情報政策推進室(ほか)] R4:身近な公共施設等でのオンライン手続支援を検討

コミュニティ内のつながりを強める仕組みが動き始めている

- ・[情報政策推進室(ほか)] R4:地域の課題把握、仕組みの検討
- ・[福祉部] 障害者の社会参加と就労支援 4,259千円【新規】

生産性等の向上が実証され、導入が進んでいる

- ・[商工部] 新事業の展開や生産性向上などを支援 154,045千円【拡大】
(チャレンジ企業応援事業費・中小企業サポート活動費)
- ・[情報政策推進室] R4:遊休資産のドローン練習場への活用を検討
- ・[こども部] 民間保育所等におけるICT化の推進支援 19,500千円【新規】
- ・[こども部] 子育て支援センターにおけるICT化の推進支援 500千円【拡大】
- ・[水産農林部] R4:産地に適したスマート農業技術の導入検討
- ・[水産農林部] ICTを活用した養殖管理の高度化 1,200千円【新規】
- ・[水産農林部] ドローンを活用した対策に係る調査・検証 895千円【新規】

心身ともに健康だと感じている市民が増えている

- ・[福祉部] R4:行政・地域包括支援センター間のネットワークの検討
- ・[市民健康部] 池島診療所における遠隔診療のための環境整備 5,763千円【新規】
- ・[こども部] R4:子育てアプリを活用したデジタル化の検討

新たなサービスの創出につながっている

- ・[情報政策推進室] 都市OSの運用と活用の検討 1,908千円【新規】
- ・[情報政策推進室(ほか)] オープンデータの対象拡大 【ゼロ予算】
- ・[秘書広報部] オープン化に向けた広報写真のデータ化 2,003千円【拡大】

最新のテクノロジーに触れられる場が提供されている

県外からのIT企業の誘致及び若者の起業が増えている

- ・[情報政策推進室(ほか)] R4:運営主体や運営方法の検討
- ・[教育委員会] プログラミングコンテストの実施 21千円【継続】
- ・[商工部] オープンイノベーション・スタートアップ 44,880千円【拡大】
県外企業のサテライトオフィス設置支援

家庭でも安全に端末を利用できる環境が実現している

個別学習や協働学習のための授業内容が構築されている

- ・[教育委員会] 安全・安心な家庭学習環境の提供 9,186千円【拡大】
- ・[教育委員会] ICTを活用した指導力向上に向けた支援 34,919千円【拡大】
- ・[教育委員会] GIGAスクール運営支援センターの設置 35,861千円【新規】
- ・[教育委員会] ICT活用のための大型提示装置の更新 106,827千円【拡大】
- ・[教育委員会] 科学館におけるWi-Fi環境の整備 6,600千円【新規】

実践的なカリキュラムを産学官が連携して実施している

- ・[情報政策推進室(ほか)] R4:人材育成プラットフォーム活用の検討
- ・[情報政策推進室(ほか)] R4:運営主体や運営方法の検討（再掲）
- ・[教育委員会] プログラミングコンテストの実施（再掲）

【交流 × デジタル】

3年後 (R6) の目指す状態とR4個別事業 下線: 目指す状態

基本方針3 活躍の機会を創出 (再掲)

基本施策3-2 チャレンジの場をつくる (再掲)

個別施策 ・オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援 (再掲)

基本方針5 まちの魅力向上

基本施策5-1 XRコンテンツの創造

個別施策 ・XRの活用による平和学習コンテンツの創出
・XRの活用によるまちの記録と新たな観光資源の創造

基本施策5-2 交流人口・関係人口の創出

個別施策 ・観光地域づくりの推進

・デジタル技術を活用した受入環境の整備
・働く場所を選ばない人材の移住促進



県外からのIT企業の誘致及び若者の起業が増えている

・[商工部] オープンイノベーション・スタートアップ
県外企業のサテライトオフィス設置支援 (再掲)

地域の資源が磨かれ、魅力あるコンテンツとして活用されている

- ・[原爆被爆対策部] 被爆の実相を伝えるコンテンツの作成 5,106千円【拡大】
- ・[情報政策推進室ほか] R4:手法の検討と360°カメラによるまちの記録ターゲットとした来訪者が増加している
- ・[文化観光部] DMOによるデジタルマーケティングや情報収集・発信等の取組み 70,723千円【新規】
- ・[文化観光部] 観光案内AIチャットボットの導入 6,578千円【新規】
- ・[企画財政部] R4:ワーケーションの推進

【行政 × デジタル】

基本方針6 スマート市役所への変革

基本施策6-1 スマートフォンの中に市役所をつくる

個別施策 ・行政手続のオンライン化推進

・マイナンバーカードの普及促進
・地理情報システム (GIS) を活用した行政情報の提供

基本施策6-2 業務の見直しと働き方を変革する

個別施策 ・情報システムの標準化・共通化
・窓口業務の変革

・A I・RPAなどの利用促進

・ペーパーレスの推進

・行政のオープンイノベーションの推進

・契約事務のデジタル化 (電子契約システム)

・ドローンの活用推進

・テレワークの推進

・職員のICTリテラシー向上

基本施策6-3 セキュリティの確保及びパーソナルデータの適正な取扱い

個別施策 ・情報セキュリティの確保
・パーソナルデータの適正な取扱い
・職員のICTリテラシー向上 (再掲)



市民等の手続きに要する手間や時間が削減されている

- ・[情報政策推進室ほか] オンライン化に向けた環境整備 55,751千円【拡大】
- ・[中央総合事務所] オンライン化に向けた環境整備 6,270千円【拡大】
- ・[理財部] 地方税統一QRコード対応に係る改修等 30,436千円【新規】
- ・[市民生活部ほか] マイナンバーカード取得促進キャンペーン 943千円【新規】
- ・[まちづくり部ほか] 公開型GISの構築・運用 6,849千円【新規】

デジタル技術を活用して業務が効率化され、新たな働き方が定着している

- ・[情報政策推進室ほか] R4:システム移行に向けた取組み
- ・[総務部] 総合窓口の整備 70,265千円【拡大】
- ・[中央総合事務所] 窓口における多言語対応 187千円【拡大】
- ・[情報政策推進室ほか] R4:各種相談窓口のオンライン化検討
- ・[総務部ほか] RPAなどのICTを活用した業務の効率化 5,647千円【拡大】
- ・[情報政策推進室] 効果が期待される先端技術の検証 2,400千円【新規】
- ・[中央総合事務所] 道路異常箇所通報システムの利用拡充 941千円【拡大】
- ・[こども部] 児童福祉システムの改修 (ひとり親福祉医療の現況届廃止) 3,800千円【拡大】
- ・[中央総合事務所] 地域台帳の電子化による訪問活動の拡充 1,600千円【拡大】
- ・[中央総合事務所] 生活保護廃止ケースのデータ化 960千円【拡大】
- ・[議会事務局] タブレット導入による議会活動の活性化等 6,422千円【拡大】
- ・[農業委員会] タブレット導入による現地調査の効率化等 1,536千円【拡大】
- ・[商工部] オープンイノベーション・スタートアップ
県外企業のサテライトオフィス設置支援 (再掲)
- ・[理財部] R4:実証実験及び導入検討
- ・[理財部] 電子調達システムの改修 7,137千円【拡大】
- ・[消防局] ドローンを活用した災害現場の被害調査 39千円【拡大】
- ・[総務部] 本格的なテレワーク実施に向けた環境整備
サテライトオフィスの環境整備 392,534千円【拡大】
- ・[情報政策推進室ほか] オンライン動画学習サービスの導入等 6,725千円【新規】
- ・[情報政策推進室ほか] オンライン動画学習サービスの導入等 3,212千円【新規】

セキュリティ対策が適切に実施され、パーソナルデータに関する考え方が整理されている

- ・[総務部] R4:セキュリティポリシーの適宜見直しと周知徹底
- ・[情報政策推進室] R4:都市OSにおけるパーソナルデータ運用方法の検討
- ・[情報政策推進室ほか] オンライン動画学習サービスの導入等 (再掲)